

令和元年 12月 25日  
最高裁判所事務総局情報政策課

## 裁判所の情報セキュリティについて

### 1 情報セキュリティの重要性

- (1) 裁判所が取り扱う情報は、個人情報の集合体であり、裁判記録の中には、秘匿性の高い情報がたくさん存在しています。また、裁判官の判断内容は、いずれかの時点で公開されるものであっても、それ以前の時点で所定の手続によらずに外部に漏えいするようなことは、決してあってはなりません。
- (2) 情報は、例えば、USBメモリの紛失や標的型メールの開封といった一人の職員の一瞬の不注意によって、外部に漏えいするおそれがあります。近時、官公庁や民間企業での情報流出事案が少なからず発生していますが、万が一、裁判所において同様の情報流出事故が起これば、裁判所に対する国民の信頼が損なわれ、裁判所全体に大きなダメージをもたらすことは明らかです。
- (3) 裁判官として任官する以上、自らが機密性の極めて高い情報を取り扱う立場にいることを十分認識し、情報流出を生じさせることのないよう、細心の注意をもって情報を取り扱うようにしてください。そのことは、裁判官としての当然の責務です。

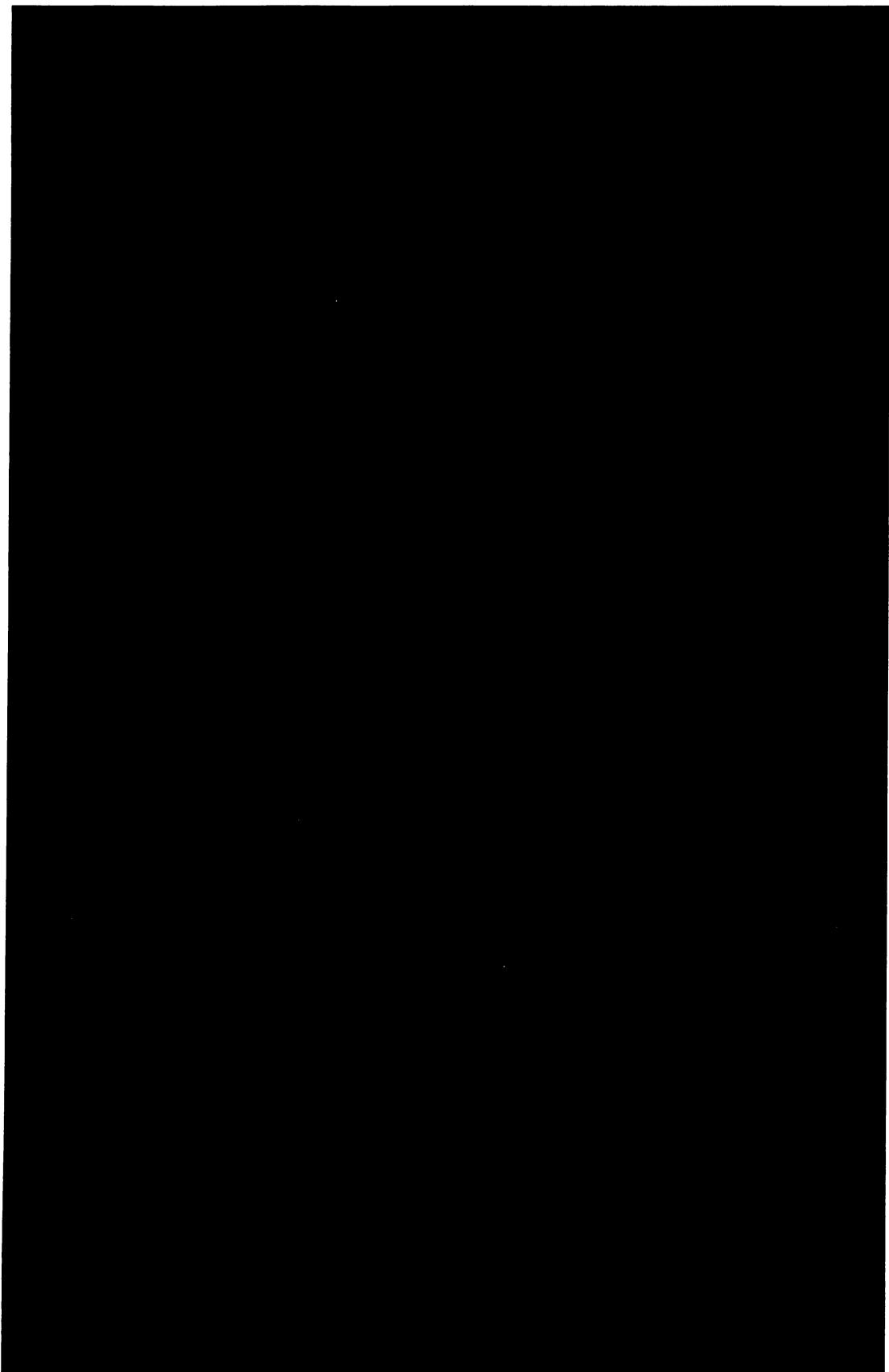
### 2 裁判所の情報セキュリティルール

#### (1) 基本的なルールの把握

別添の「情報セキュリティポリシーの要点（裁判官用）」（以下「ポリシー要点」という。）及び「情報セキュリティのルール（裁判官）」は、裁判所の情報セキュリティルールのうち基本的な内容をまとめたものですので、時間のある時に目を通しておいてください。

また、裁判所の情報セキュリティルールは、その内容を知られると攻撃者に弱点を突かれるおそれがあるため、対外的に秘匿することとしています。したがって、ポリシー要点及び情報セキュリティのルール（裁判官）を、裁判所外の人に見せたり紛失したりすることのないように気を付けてください。





2019年6月施行

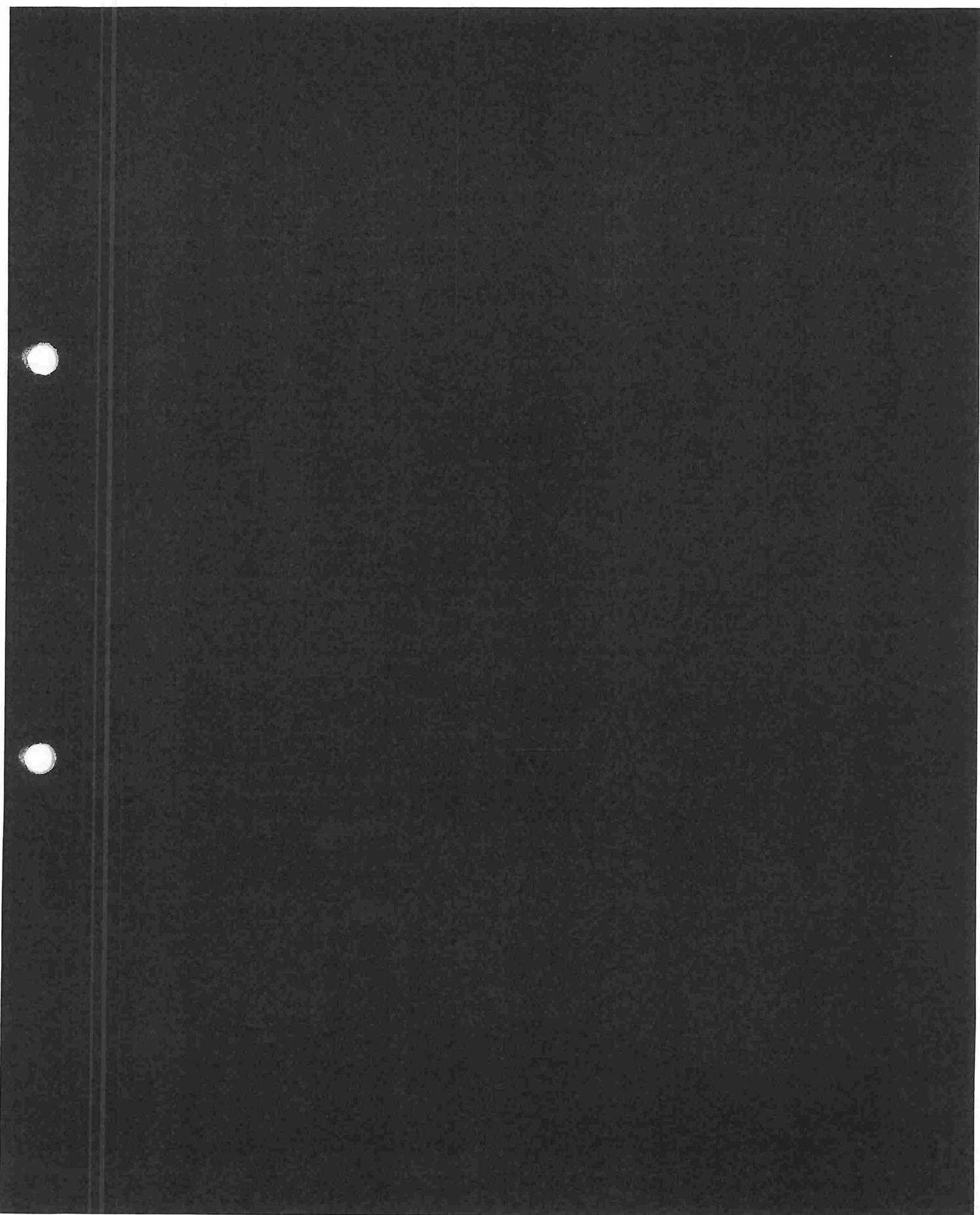
裁判所の

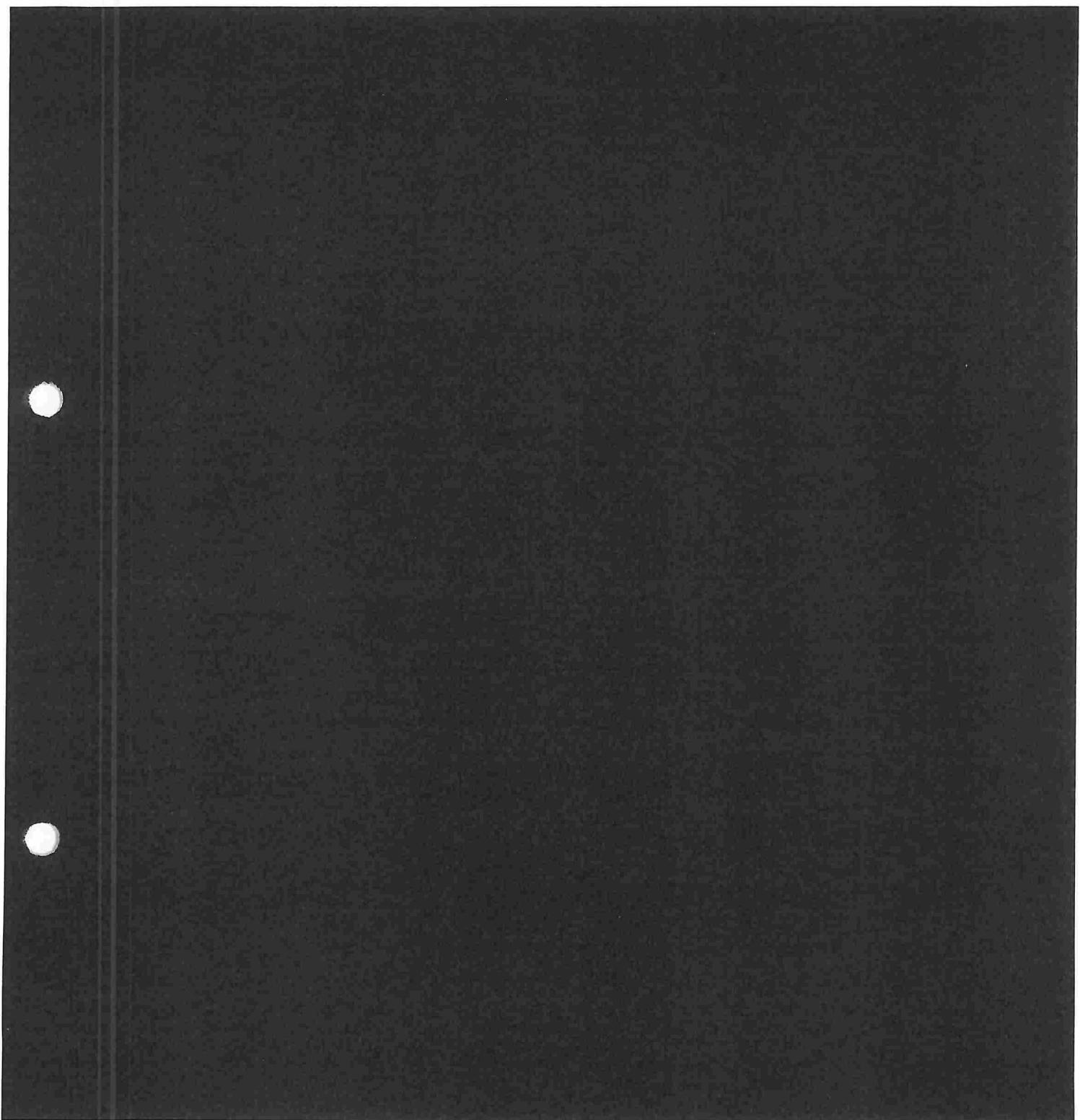
情報セキュリティポリシーの要点

(裁判官用)

2019年2月改定

最高裁判所情報政策課



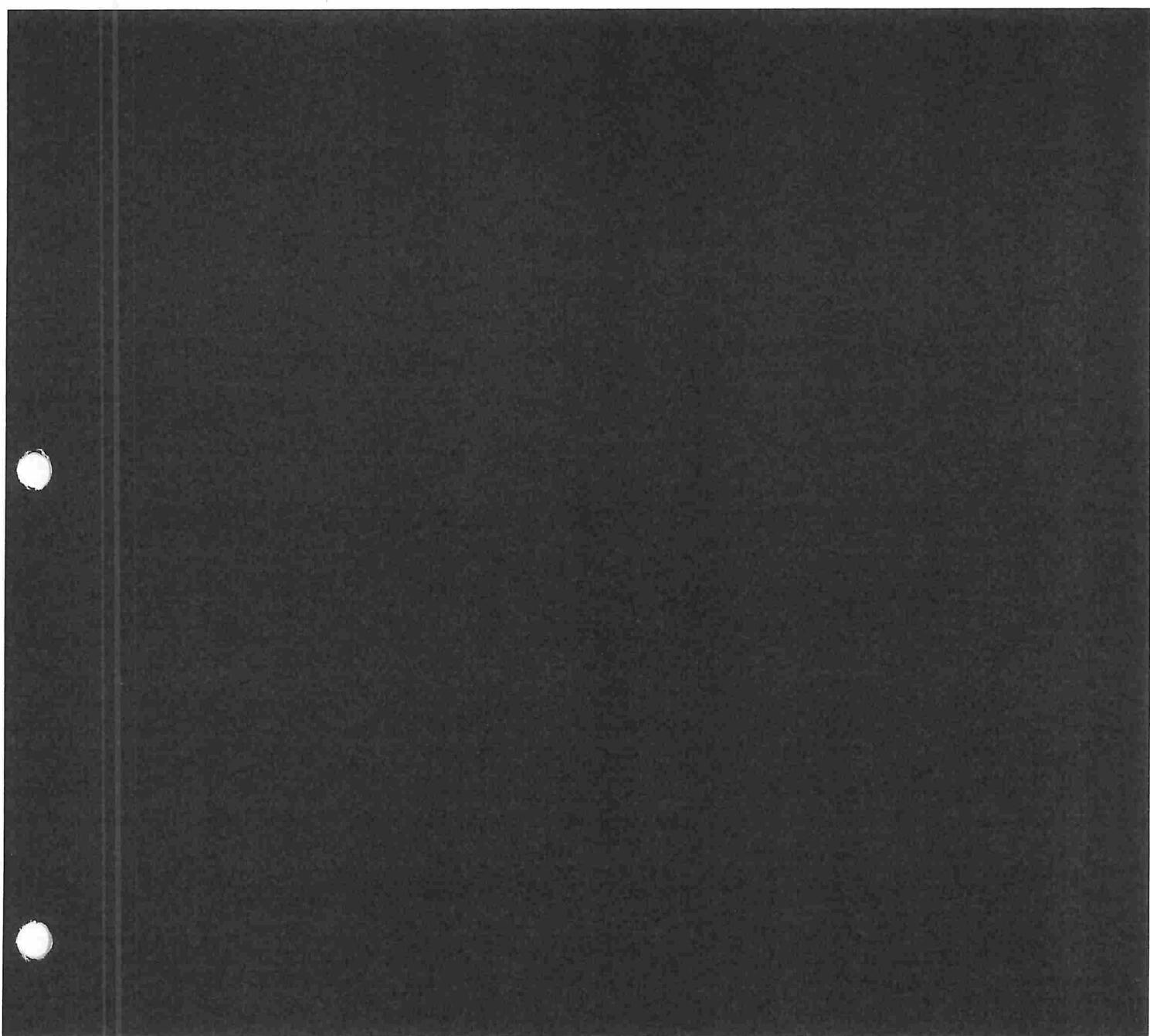


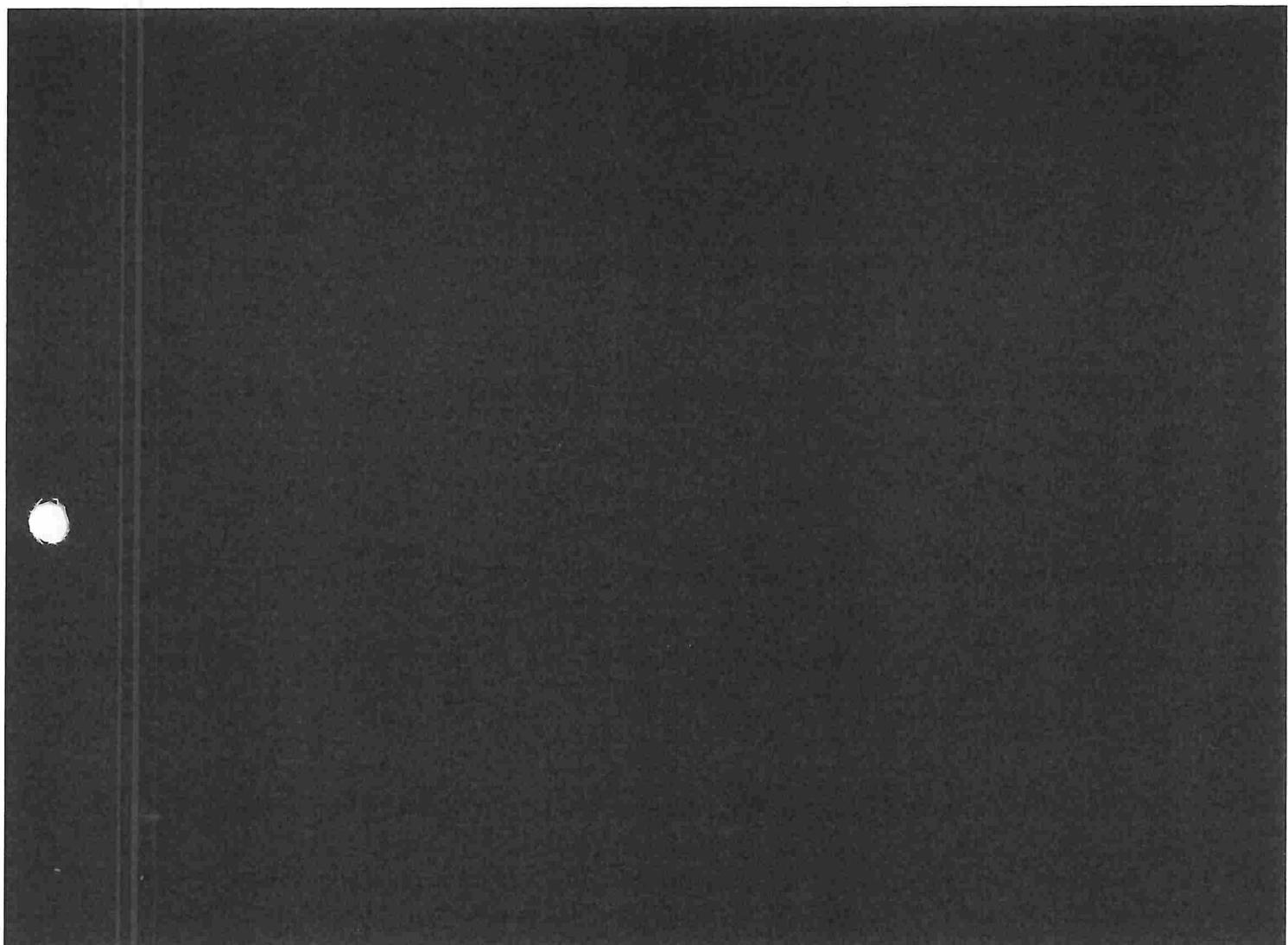






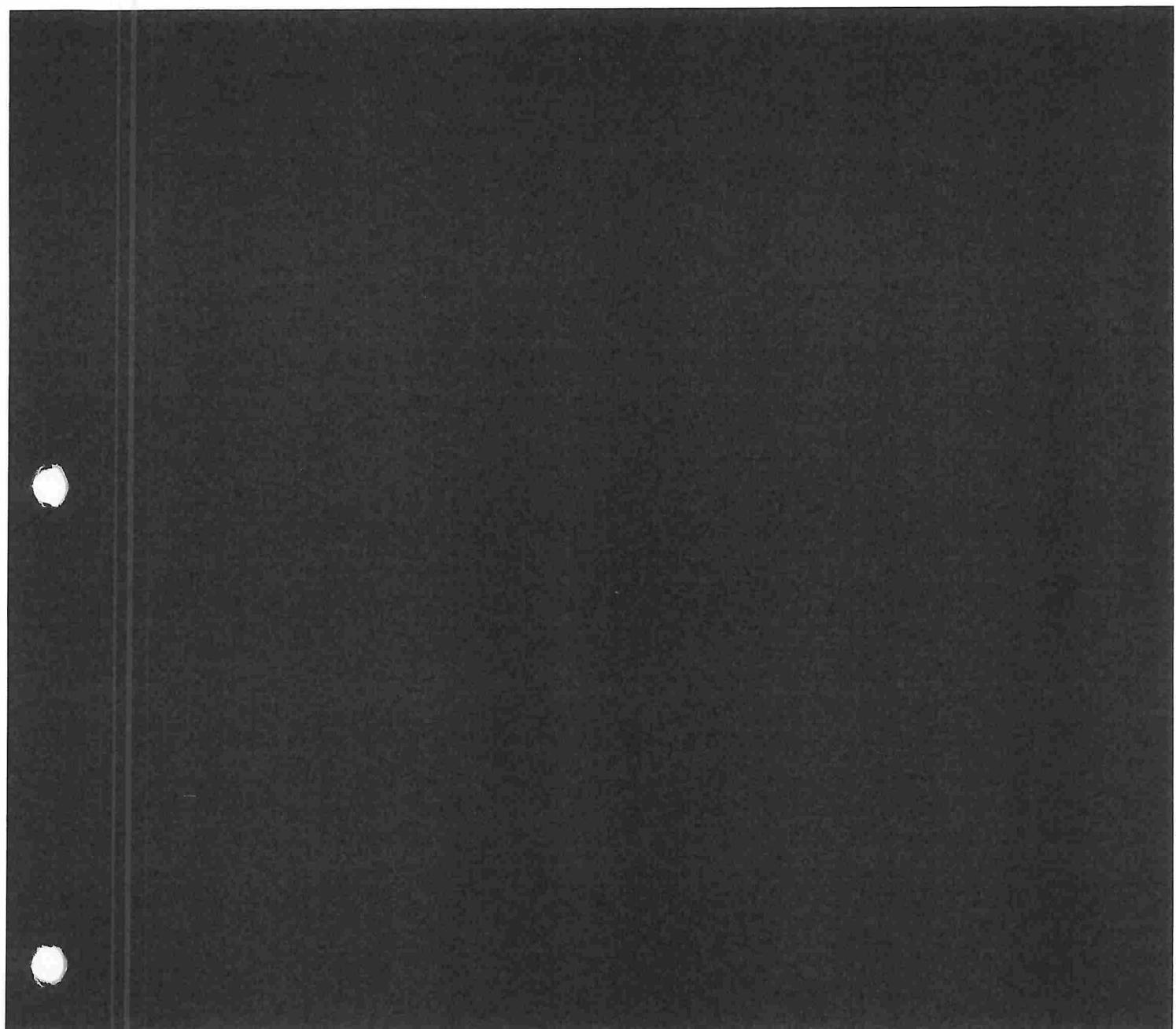






1

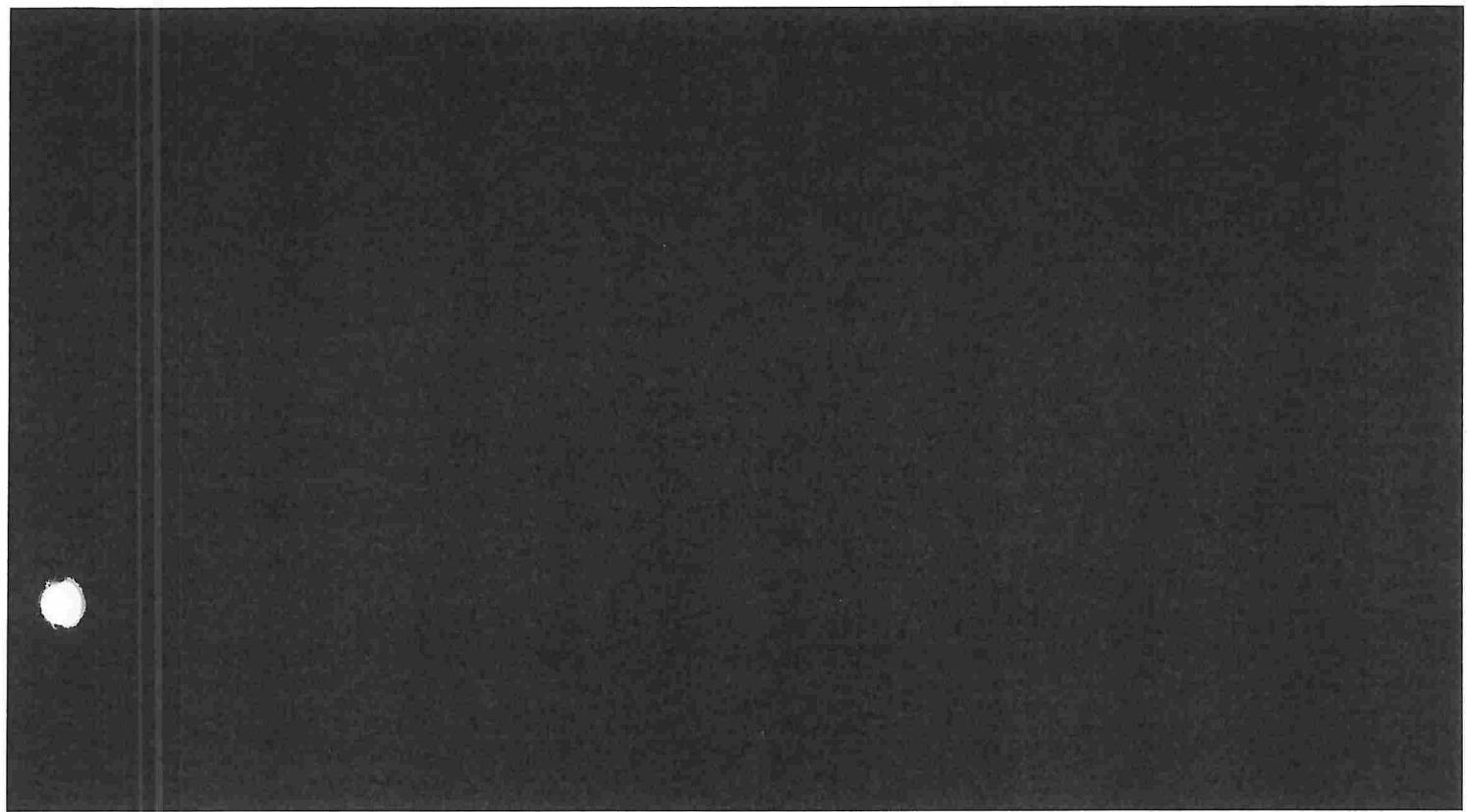




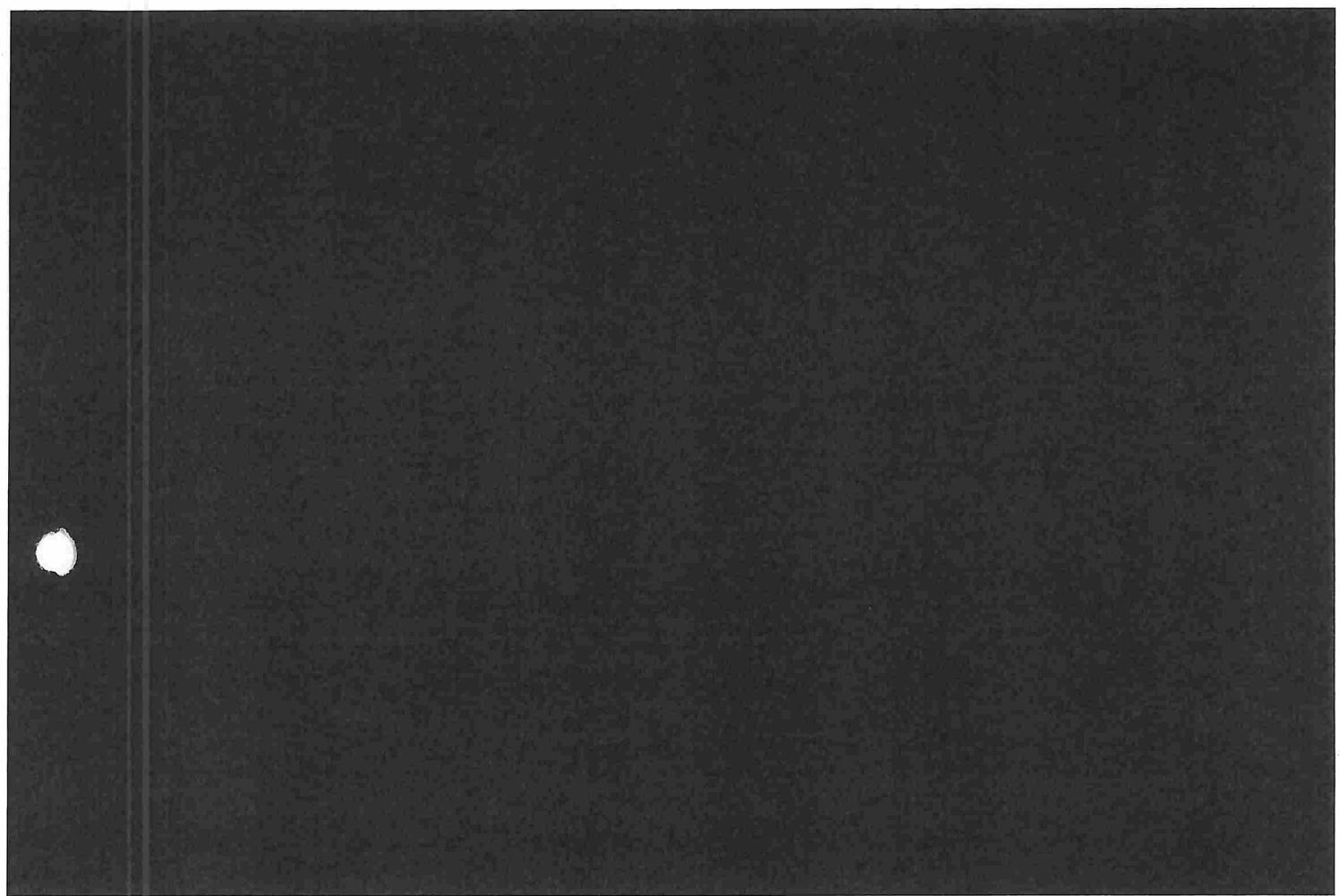










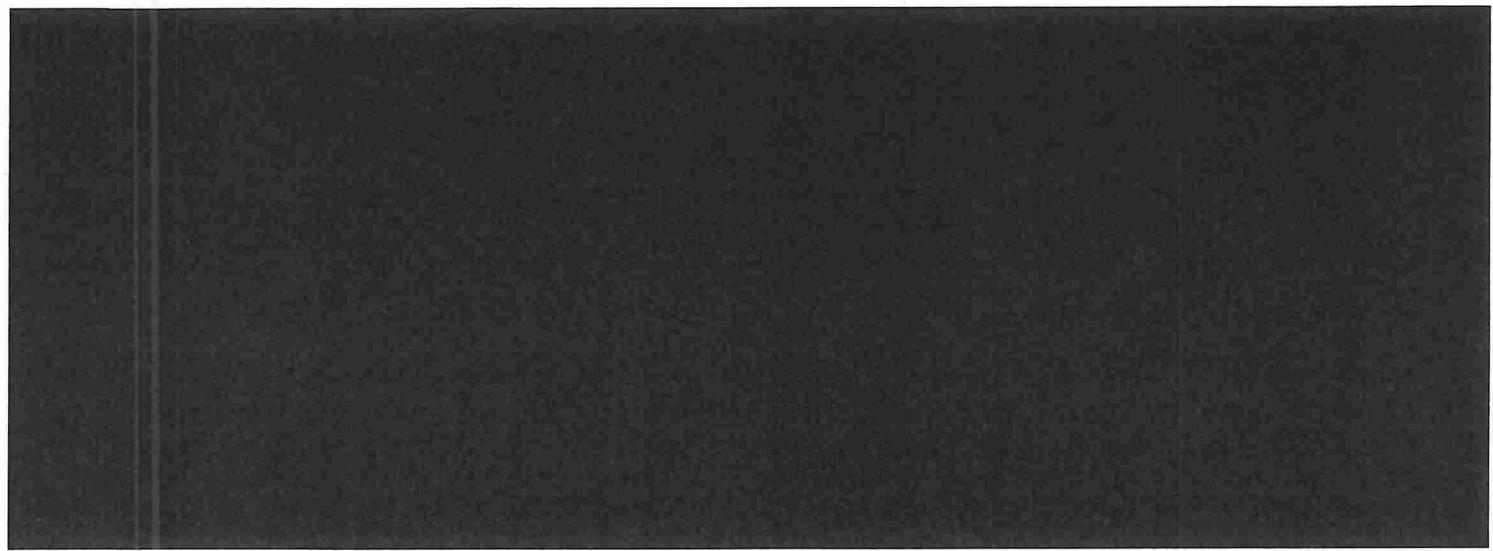


5





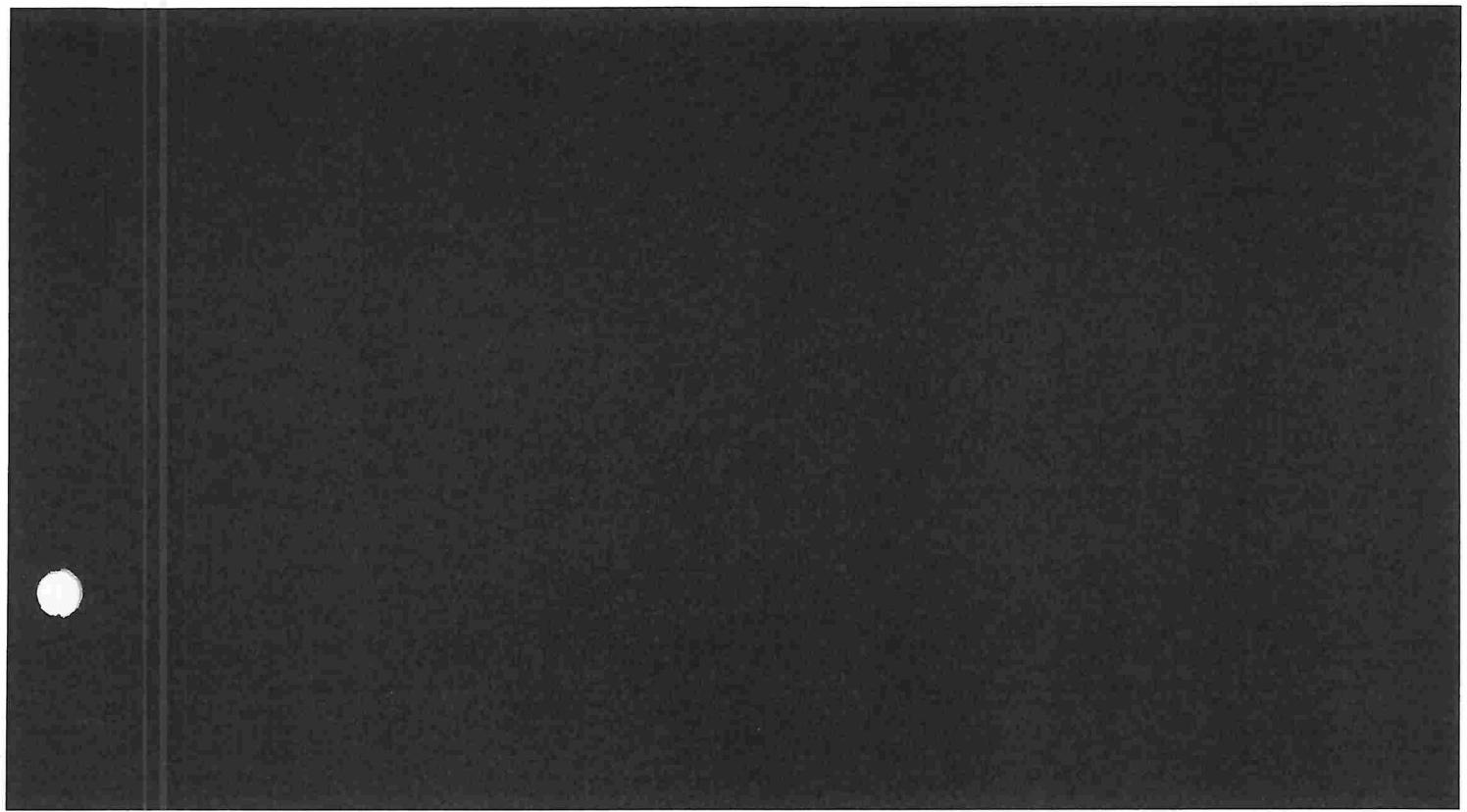




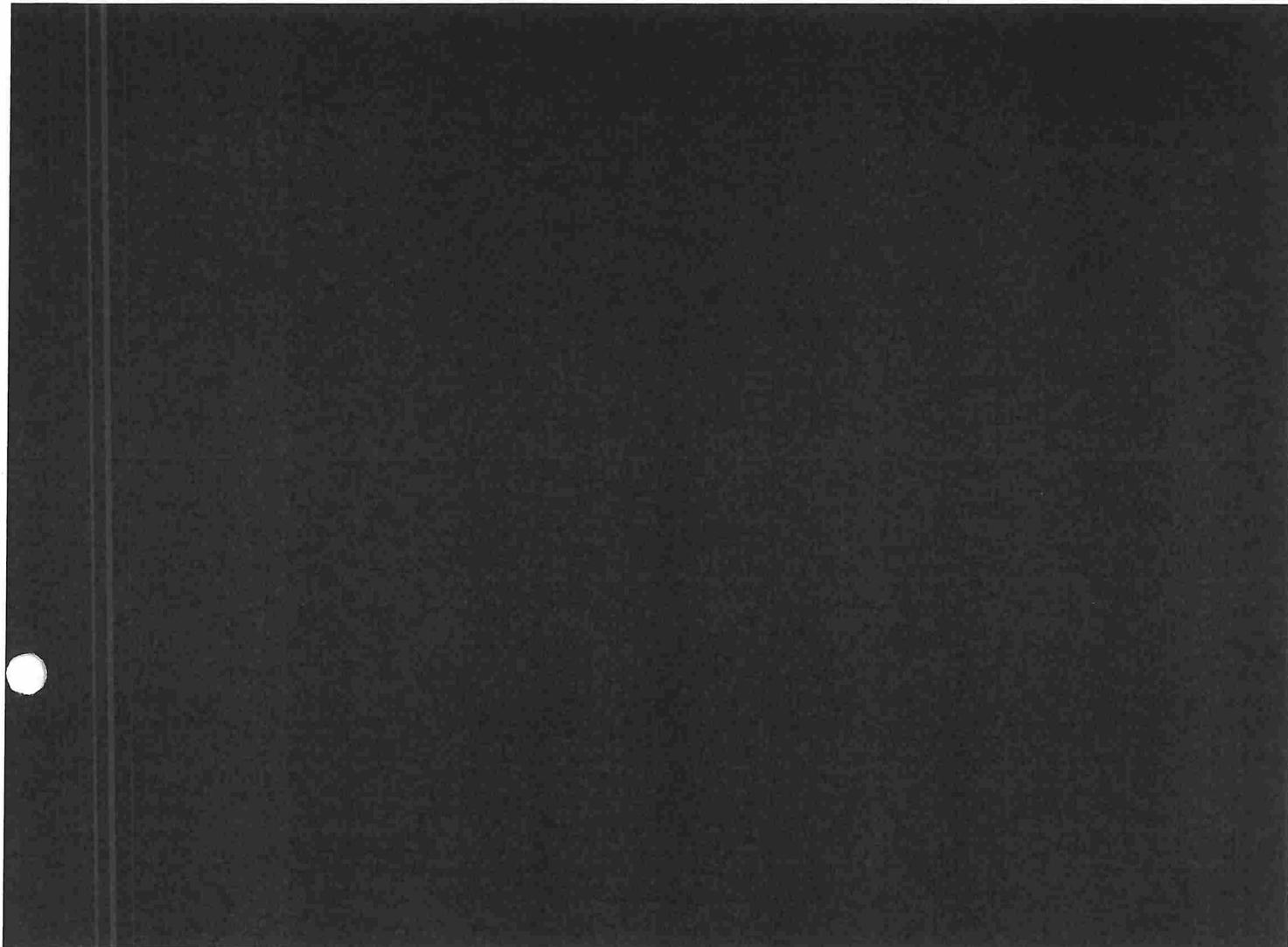
2)

3)

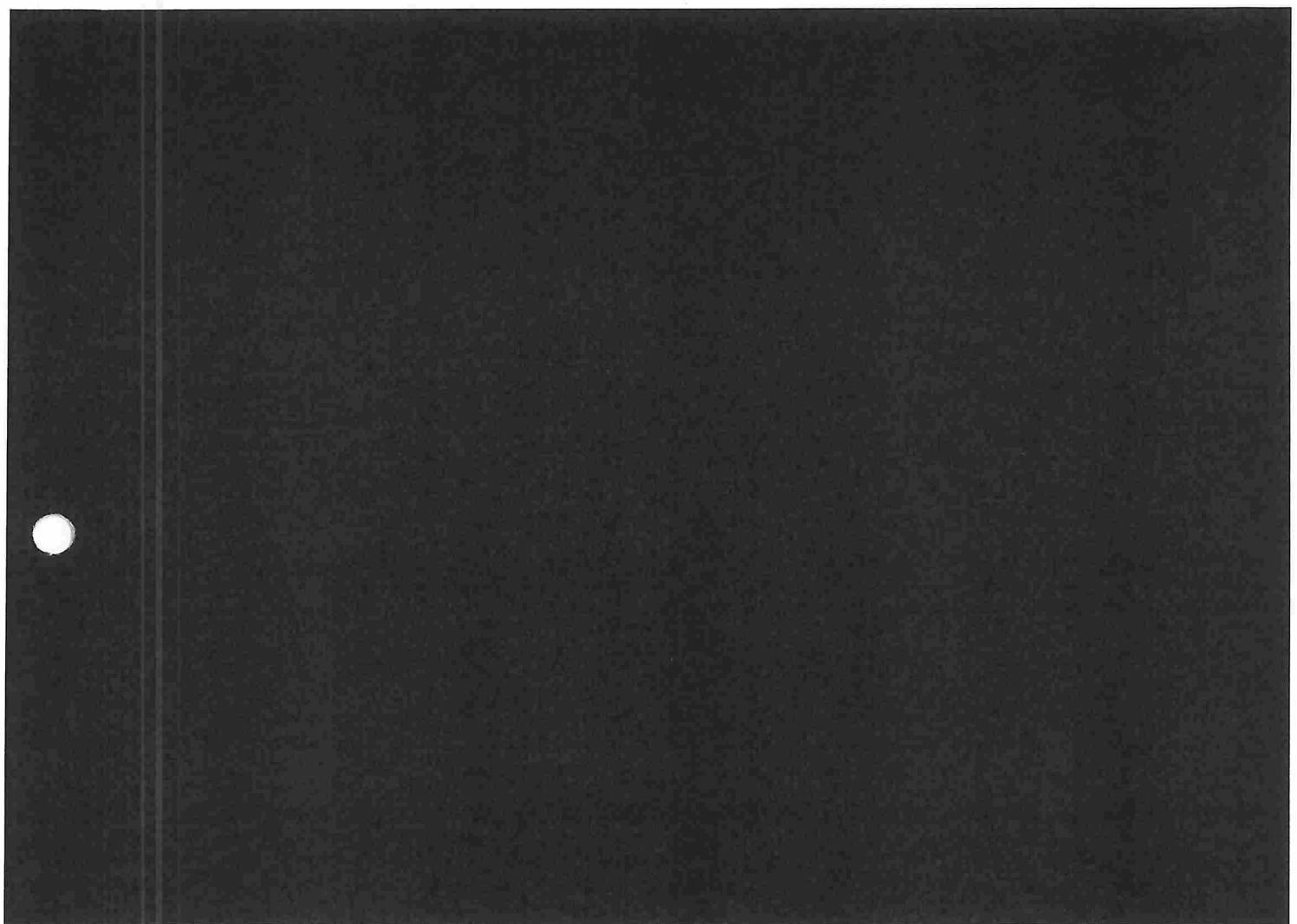












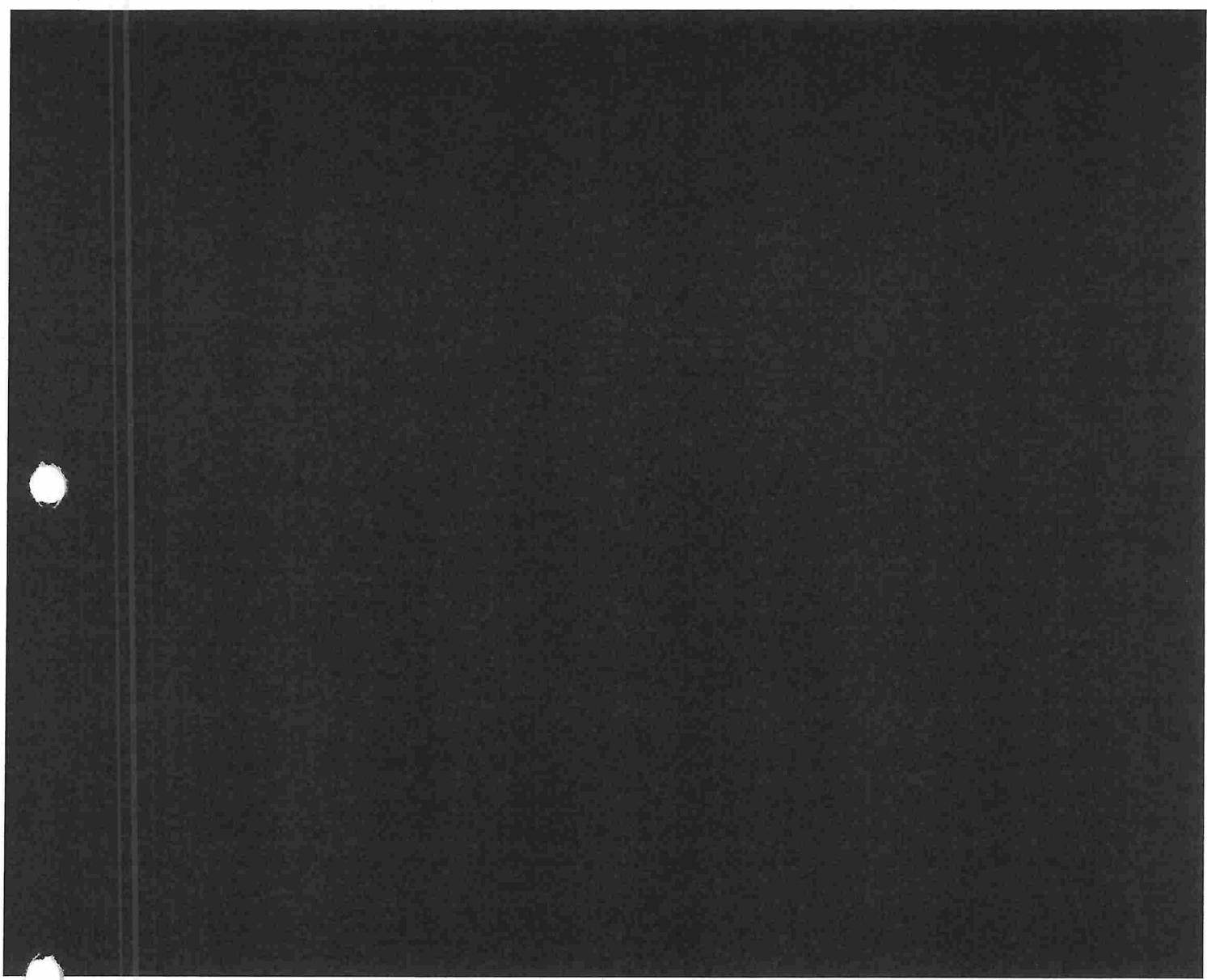








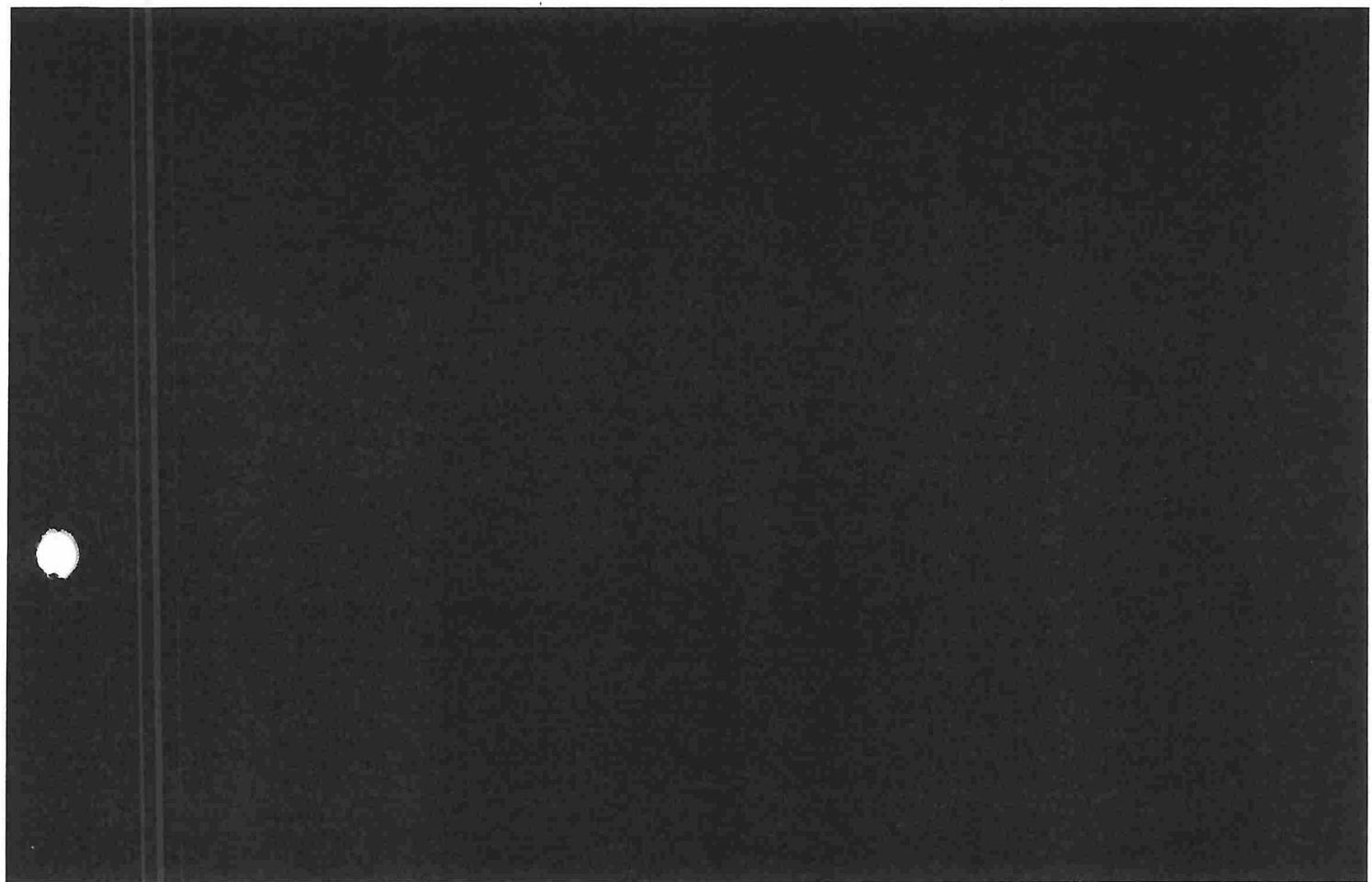






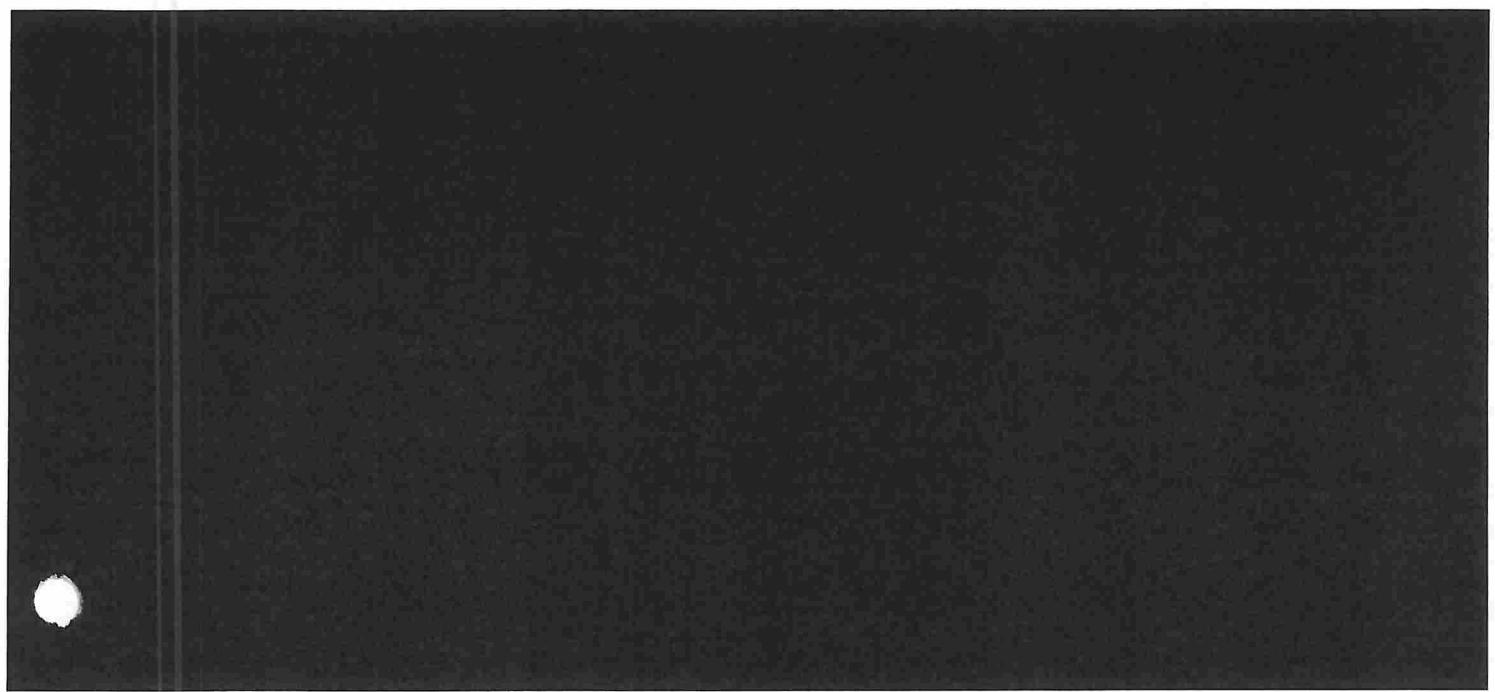












(C)







# 情報セキュリティのルール（裁判官）

H30. 11月改定版

NEW は、新ルール部分、変更部分に付しています。